

13～14年版 電気通信主任技術者試験全問題解答集1 共通編 正誤表

II-53 (2) (ii) ②

正しくは、「周波数スペクトル軸上に独立にチャンネルを配置する FDMA 方式は、時間軸でのバースト同期処理及び時間軸でのオーバーラップを防止するためのガードタイムの設定は不要である」。

II-127 (3) C

正しくは、「災害時優先電話は、特定の電話機から利用ができるよう、緊急使用時の利便性を考慮し、代表回線群や PBX に組み込まず、単独電話として使用することが推奨される」。

II-193 (3) (i) ①

ネットワークインタフェース層は OSI 参照モデルのレイヤ 1 物理層、レイヤ 2 データリンク層に相当する。

II-237 (2) (i) ①

正しくは、「10 ギガビットイーサネットの物理層は、大別すると LAN PHY と WAN PHY に分けられるが、接続するインタフェースの違い（物理的・電氣的・論理的条件）を示すものなので、長距離、短距離の区別は明確に定義できない」。

同じく ⑤

正しくは、「10 ギガビットイーサネットでは、使用する光インタフェースの仕様（PMD タイプ）が 4 種類規定されているこのうち、10GBASE-E といわれる光インタフェースは、1.5 μ m 帯の波長を使用するシングルモード光ファイバ専用となっている」。PMD タイプは、S, L, E, LX4 の 4 種類である。

お詫びして訂正いたします